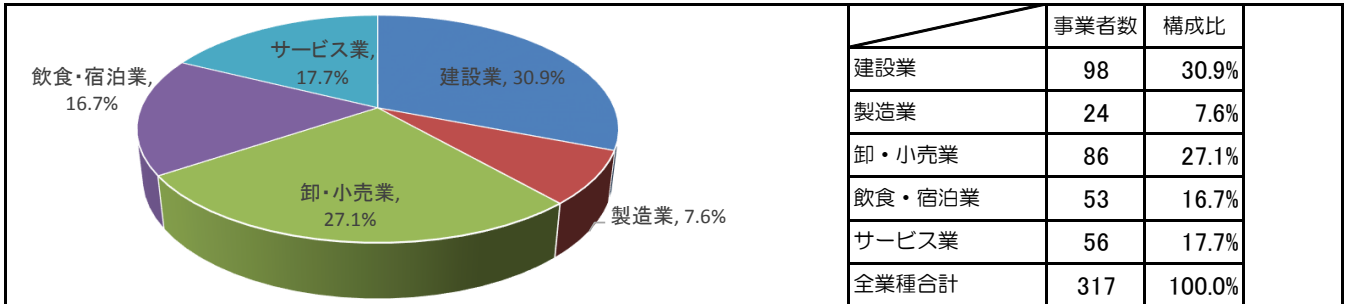


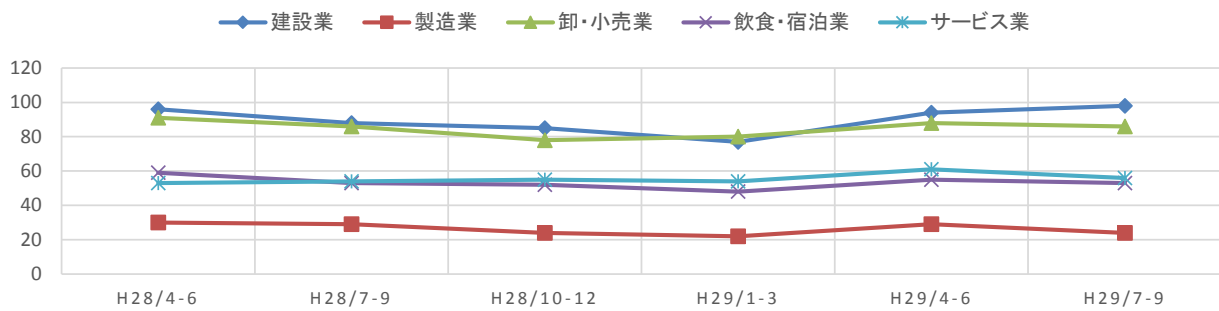
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



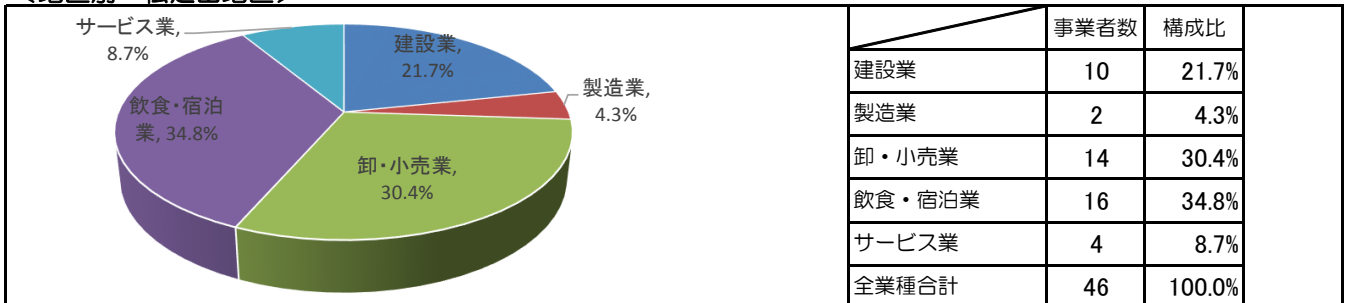
業種別調査事業所数の推移（市内全体）



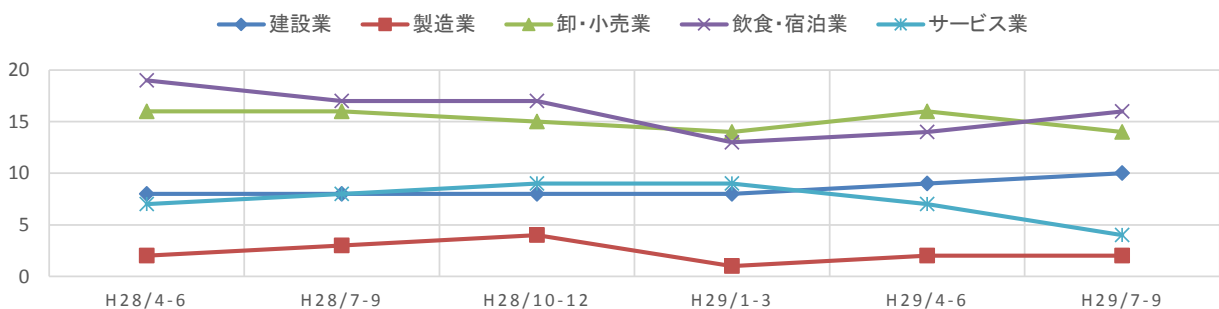
<コメント>

市内商工会地域全体の商工業者1056社の約30%からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな偏りのない調査結果である。

<地区別：松之山地区>



業種別調査事業所数の推移（地区）



<コメント>

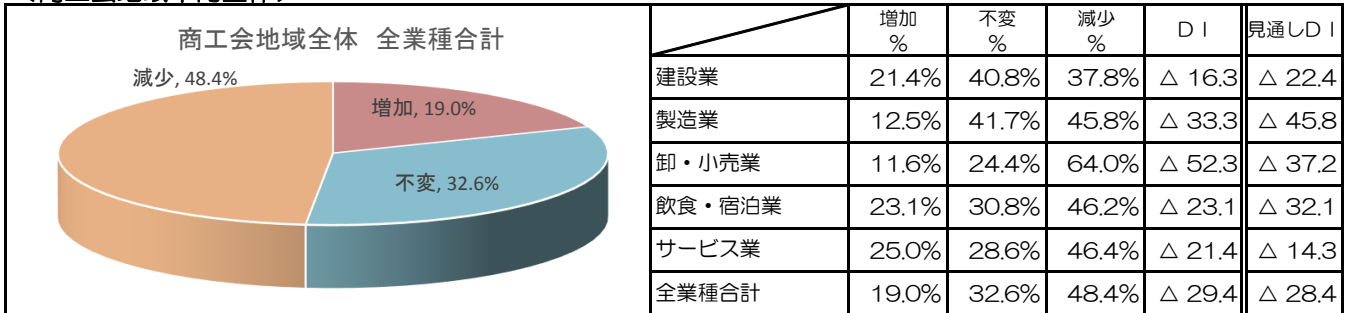
松之山地域の今回調査結果は、前回よりも2事業所少ない結果となった。卸・小売業とサービス業からの回答が減少し、飲食・宿泊業と建設業の回答が増えている。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

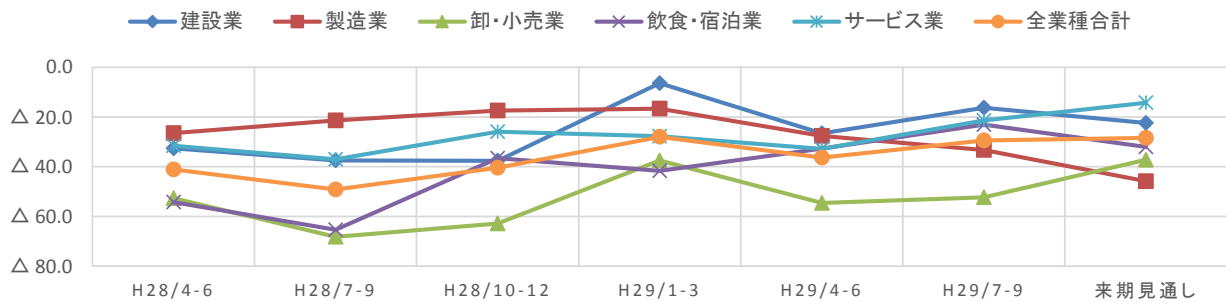
1. 売上について

- ・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞



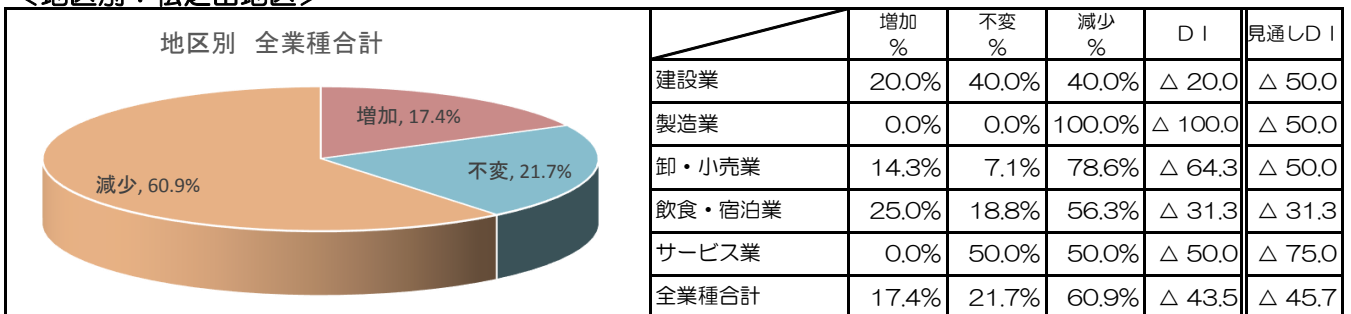
業種別売上の推移（市内全体）



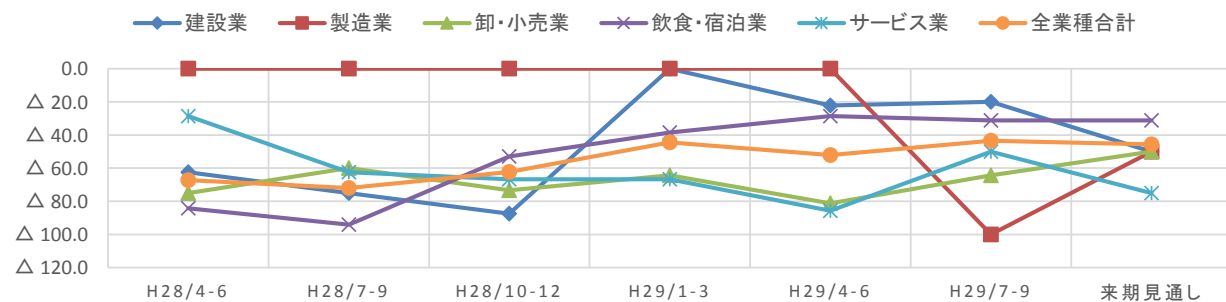
＜コメント＞

売上は、前年同期と比較して、全業種で△29.4ポイント減少となった。依然として卸・小売業の減少が目立つとともに、製造業が悪化傾向である。来期見通しは、全業種で若干改善を予想。卸・小売業とサービス業は、歳末商戦を加味し改善を予想しているが、製造業では、依然として悪化予想をしている。

＜地区別：松之山地区＞



業種別売上の推移（地区別）



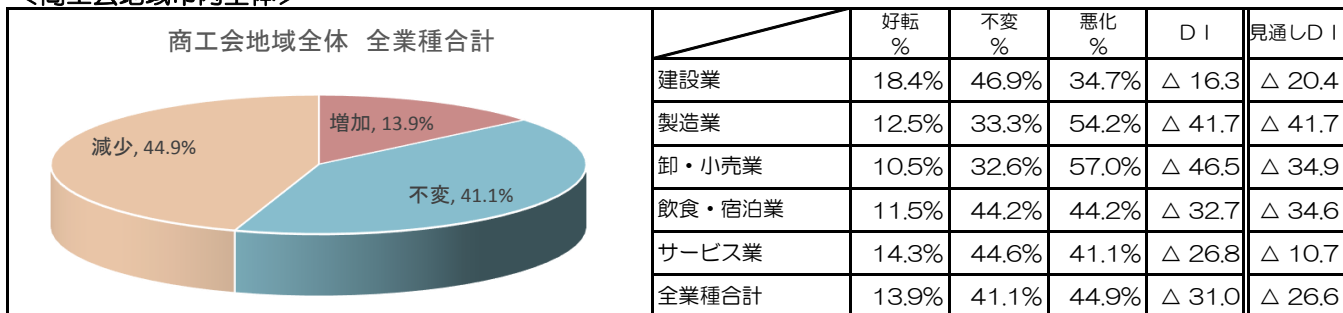
＜コメント＞

松之山地域の今期の売上は、調査開始以来不変が続いていた製造業が初めて減少した。サービス業は前期よりも改善されてきてはいるものの、来期の見通しでは悪化予想されている。また、建設業においても前期より若干改善が見られたが、来期見通しでは悪化予想されている。

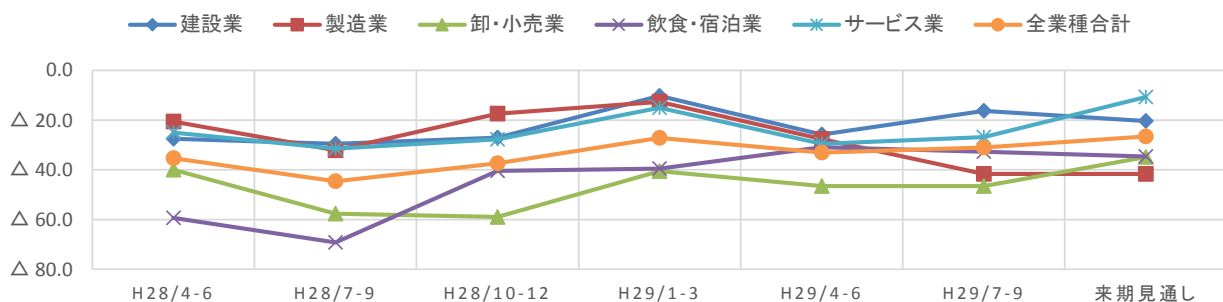
2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



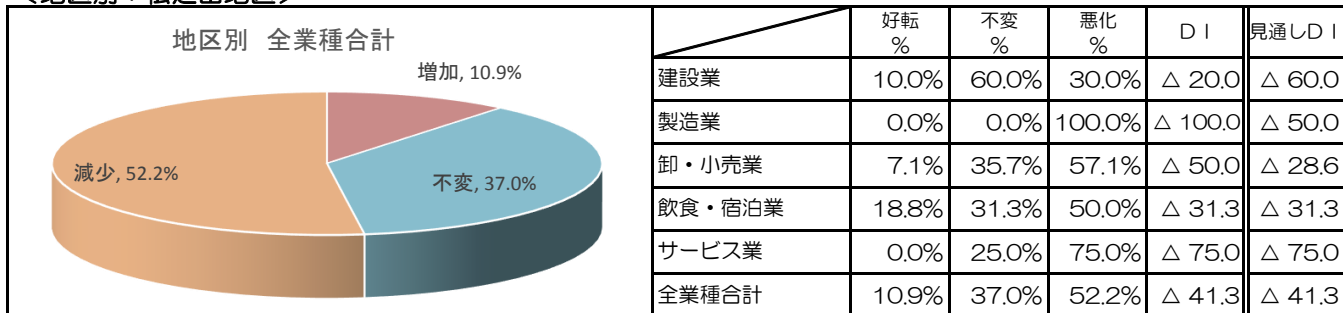
業種別採算の推移(市内全体)



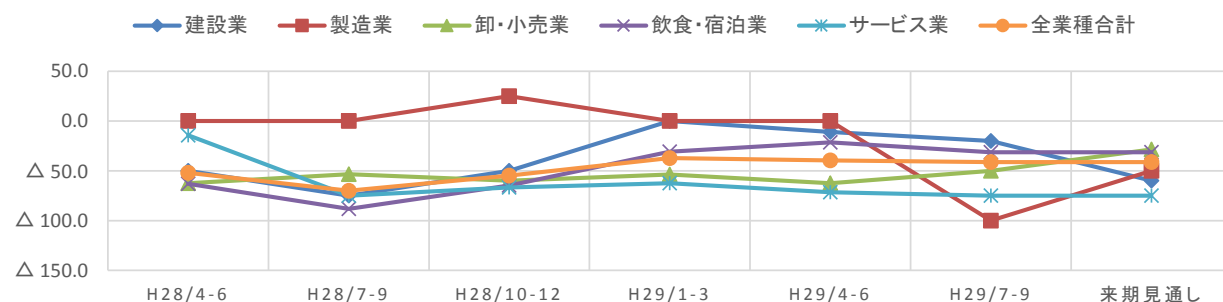
<コメント>

採算は、前年同期と比較して、全業種で△31ポイント悪化。依然として卸・小売業の悪化が目立つとともに、製造業の悪化も目立つ。来期見通しは、全業種で4.4ポイント改善を予想している。

<地区別：松之山地区>



業種別採算の推移(地区別)



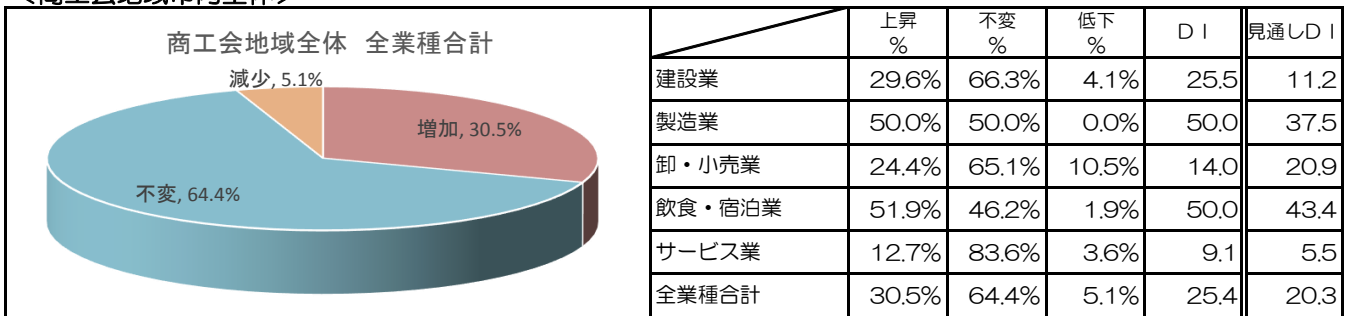
<コメント>

松之山地域の採算状況は、業種全体で見た場合大きな変動は無いのだが、売上の状況と同様で製造業の悪化が大きく、卸・小売業を除き悪化傾向にある。来期の見通しで、製造業は改善予想されているが、建設業では大きく悪化予想されている。

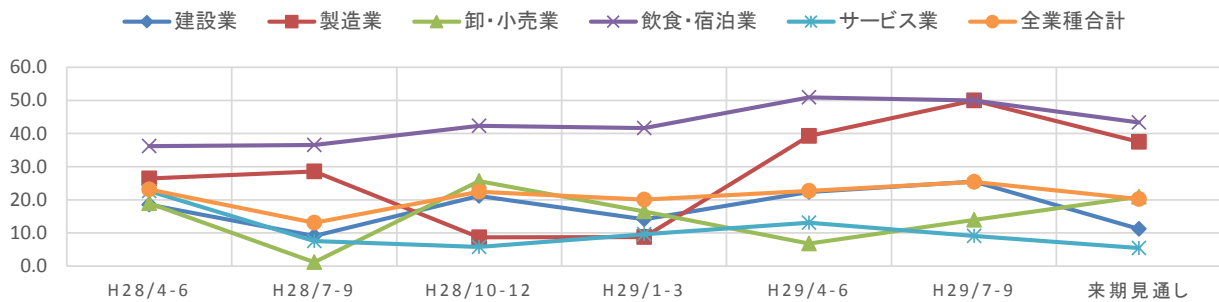
3. 仕入単価について

- 7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



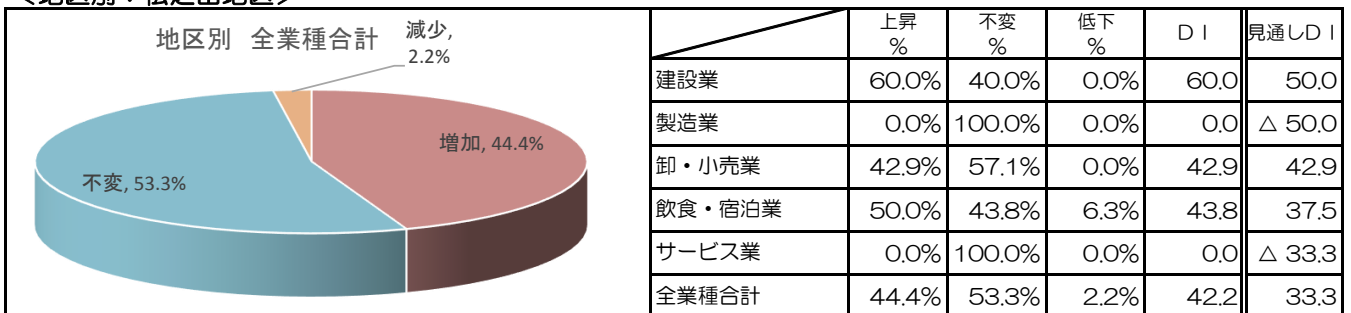
業種別仕入単価の推移(市内全体)



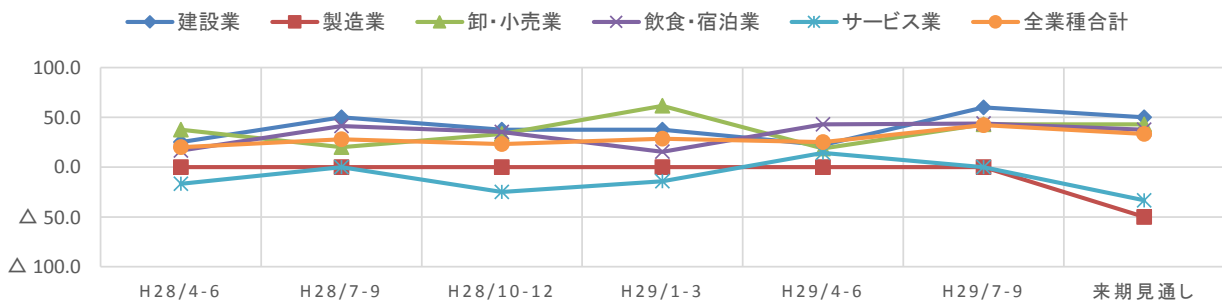
<コメント>

仕入単価は、前年同期と比較して、全業種で25.4ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業及び製造業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げている。来期見通しでも、若干落ち着いていくように思われるが、この傾向は変わらないと予想している。

<地区別：松之山地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



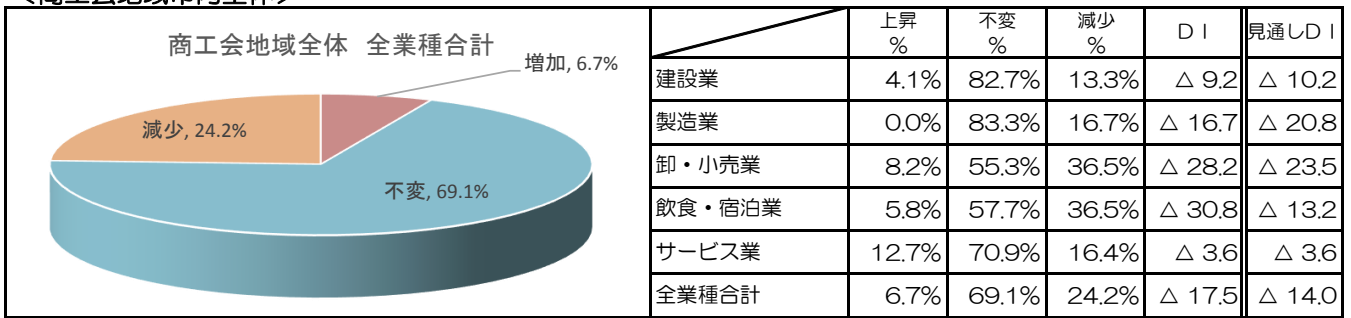
<コメント>

松之山地域の仕入単価の状況は、建設業と卸・小売業が前期よりも価格が上昇している。その他の業種においては前期と大きな変動はない結果となっている。また、来期の見通しでは全業種にて価格低下予想されているが、大きく改善はされないもようである。

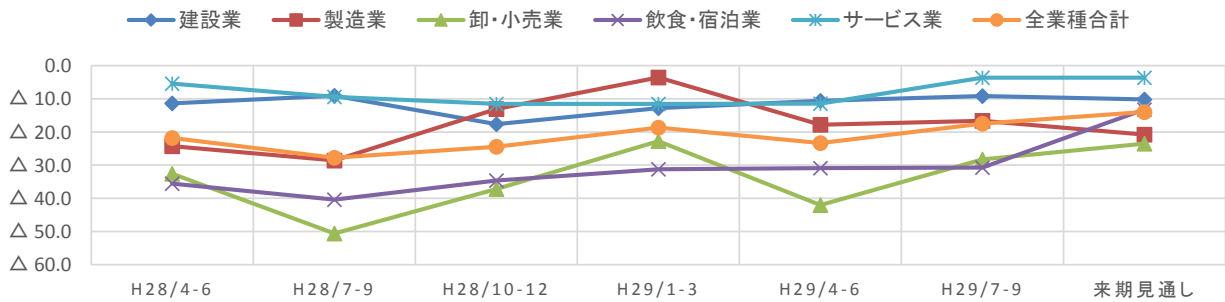
4. 販売（客）単価について

- ・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



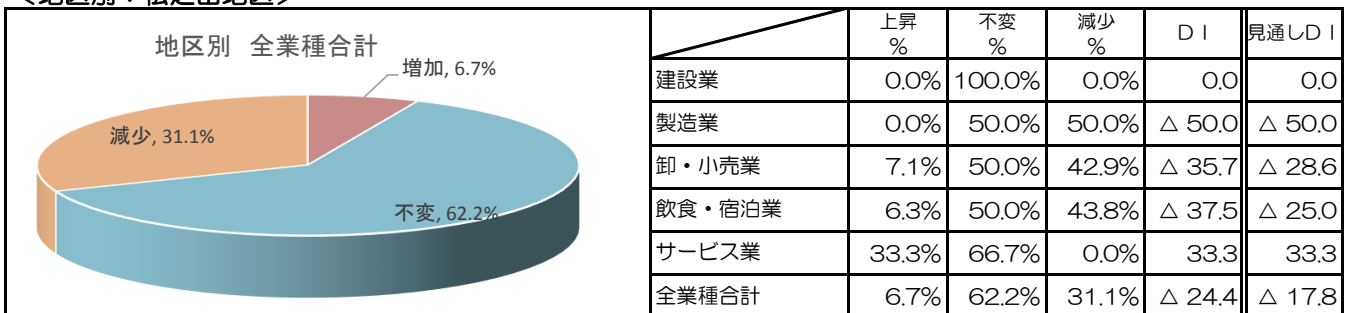
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



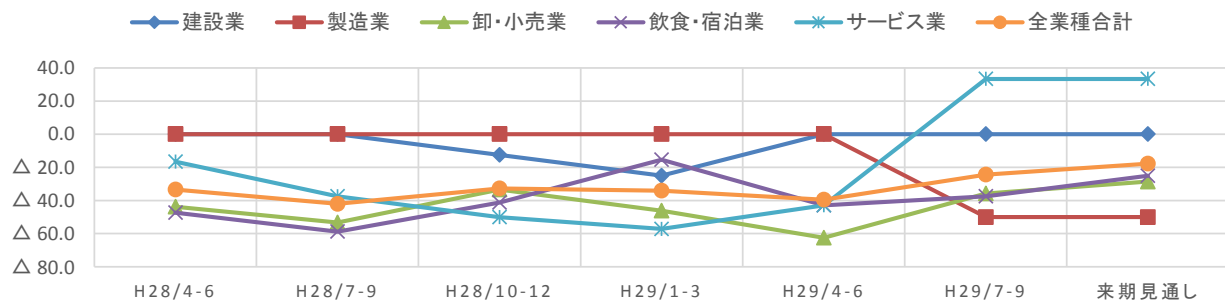
<コメント>

販売単価は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△17.3ポイント低下。来期見通しでも、全業種では低下予想をしているものの、飲食・宿泊業では、忘年会シーズンを期待して上昇予想をしている。

<地区別：松之山地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



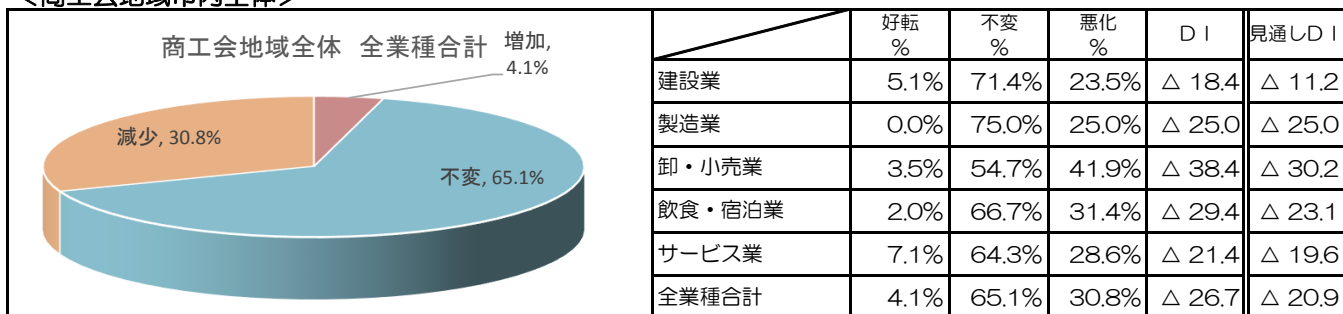
<コメント>

松之山地域の販売単価の推移は、前期に比べサービス業が大きく改善されている。卸・小売業と飲食・宿泊業においても改善されているが、製造業は大きく悪化している。業種全体では15.2ポイント改善されており、来期の見通しも若干であるが改善予想されている。

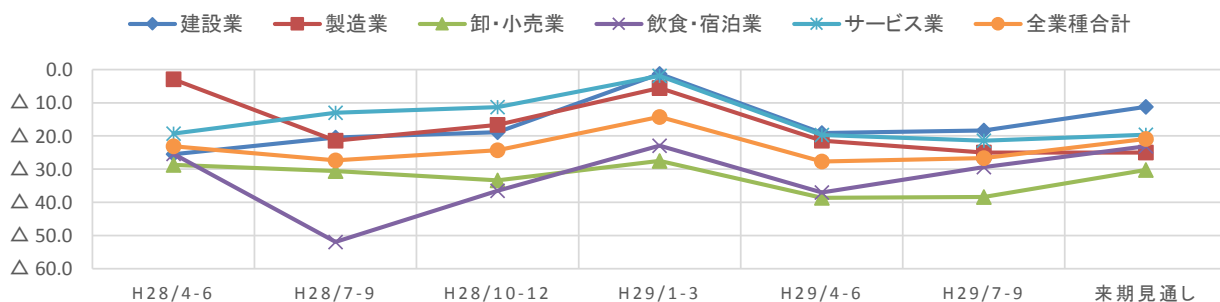
5. 資金繰りについて

- ・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



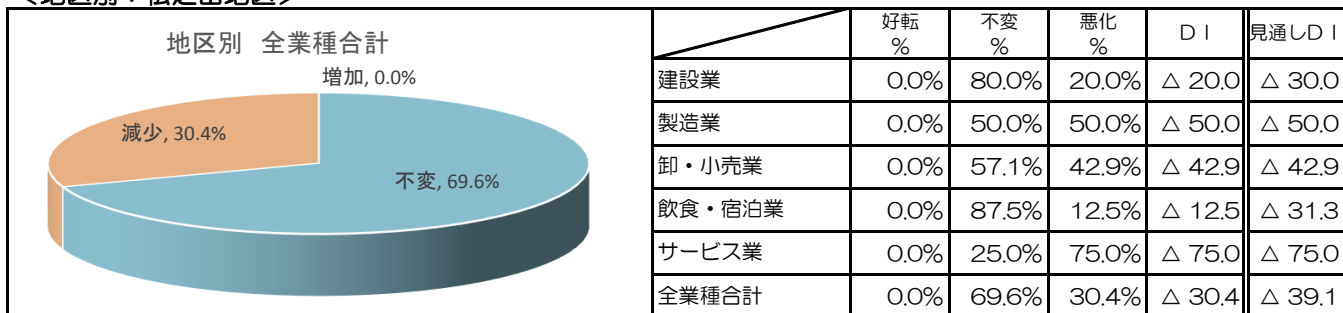
業種別資金繰りの推移(市内全体)



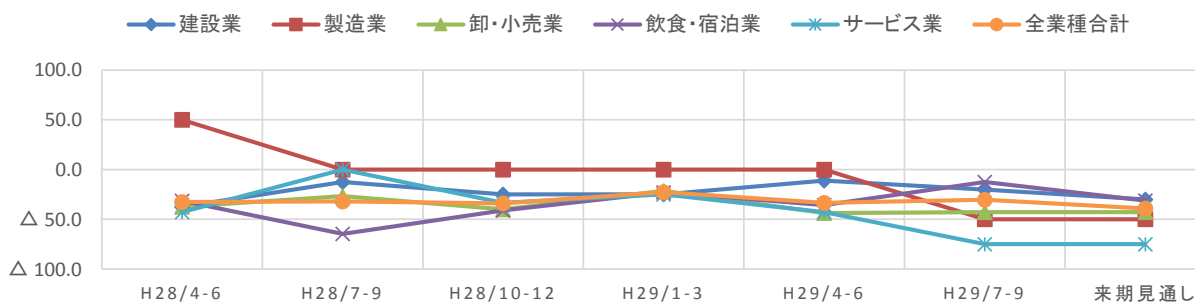
<コメント>

資金繰りは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△26.7ポイント悪化。依然として、卸・小売業及び飲食・宿泊業の悪化が目立つ。来期見通しでも、若干の改善傾向を予想しているものの、厳しい状況は変わらない。

<地区別：松之山地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



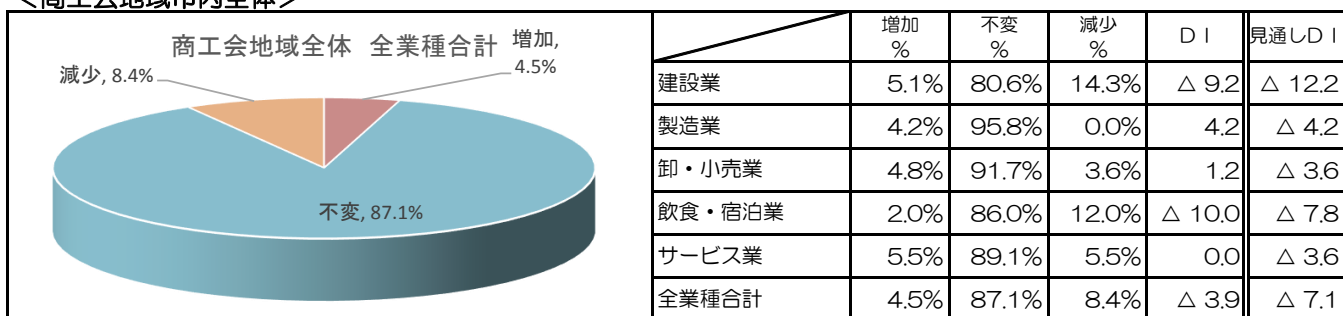
<コメント>

松之山地域の資金繰り状況は、前期に比べサービス業が改善を示しているものの、来期の見通しでは悪化予想されている。また、建設業、製造業、サービス業は前期よりも悪化と回答されており、来期の見通しでも改善予想はされていない。

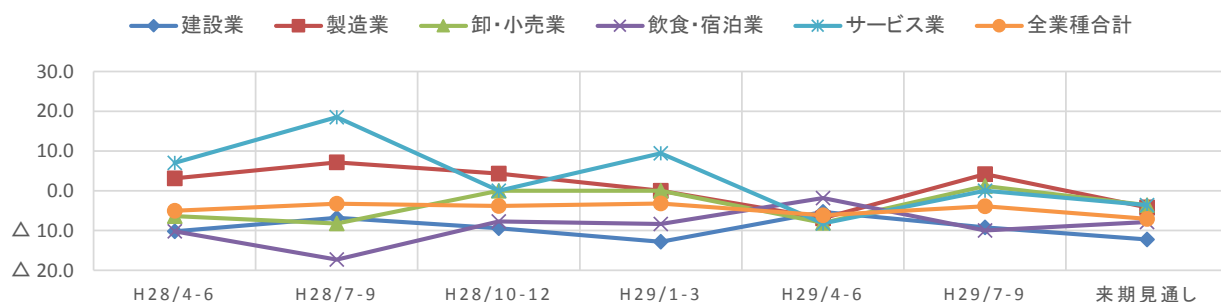
6. 従業員数について

- ・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



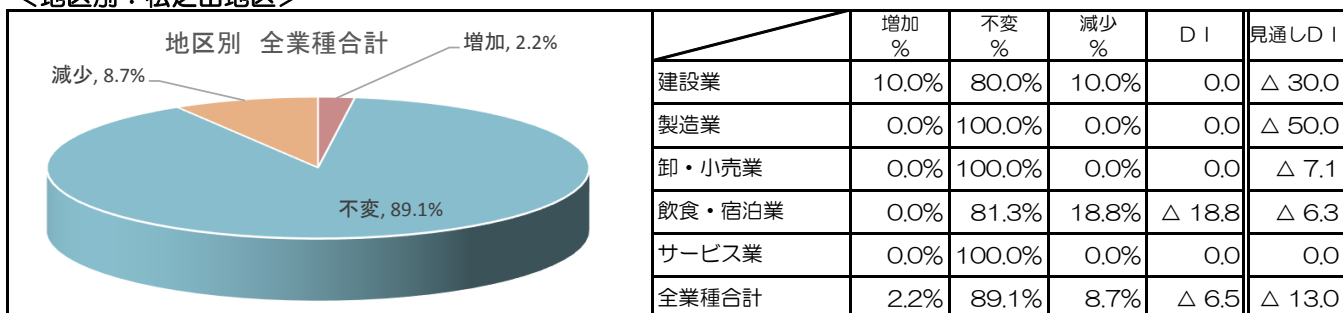
業種別従業員数の推移(市内全体)



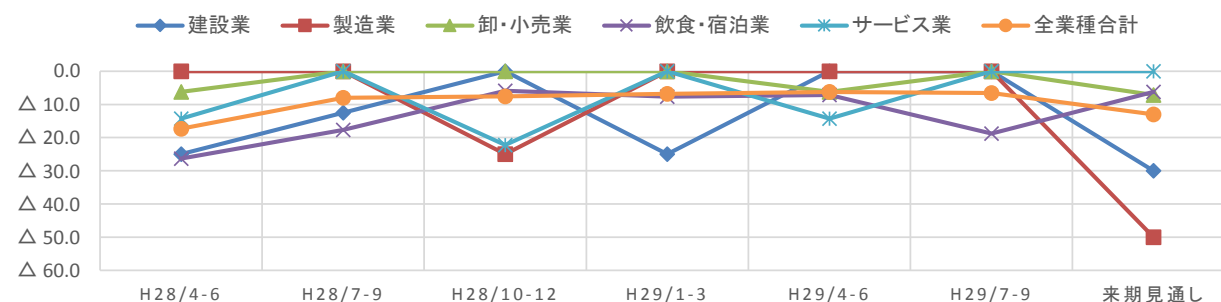
<コメント>

従業員数は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△3.9ポイント減少。来期見通しでは、同じような傾向であるが、全業種で減少予想である。

<地区別：松之山地区>



業種別従業員数の推移(地区別)



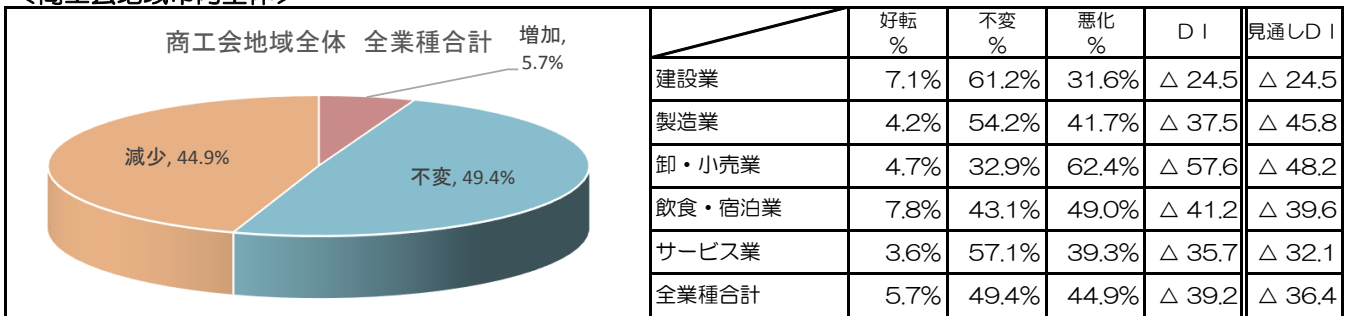
<コメント>

松之山地域の従業員数は、業種全体では大きな変動は見られないが、来期の見通しで減少予想されている。特に製造業での減少予想幅が大きく示されており、前年同様で10月～12月に減少する傾向にあることがうかがえる。

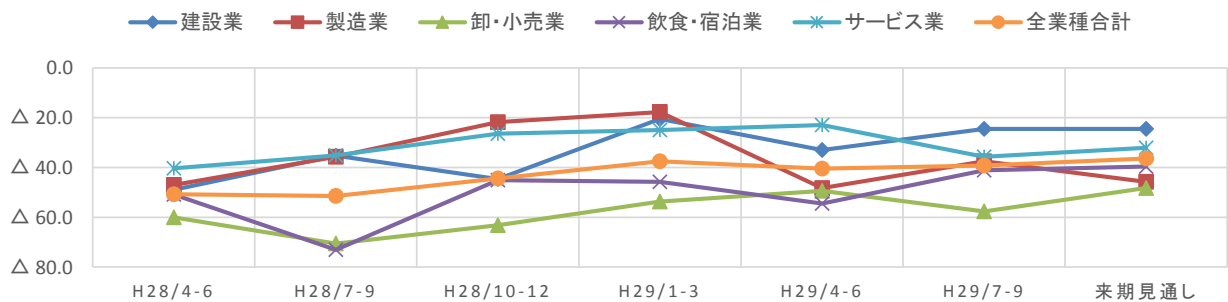
7. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



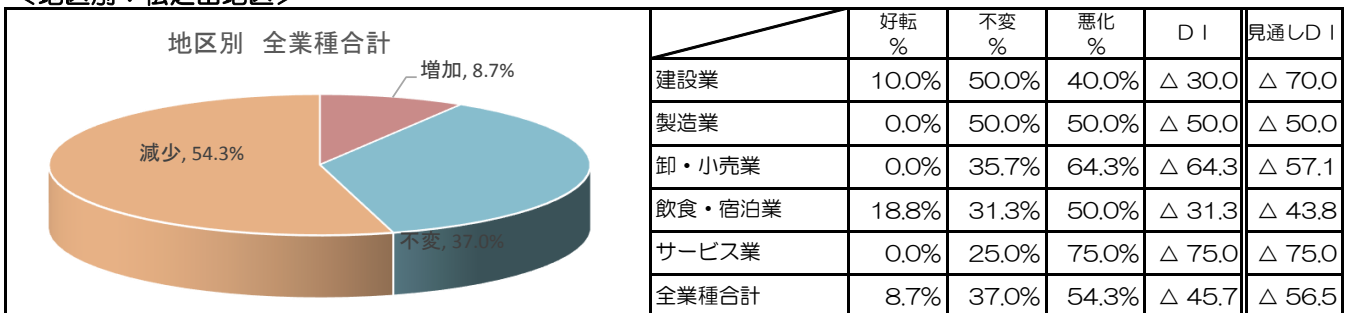
業種別景況判断の推移(市内全体)



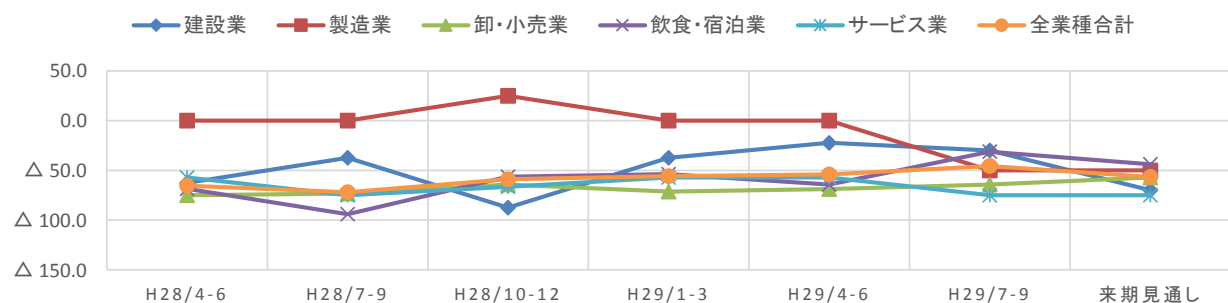
<コメント>

景況は、前年同期と比較して、全業種で△39.2ポイント悪化。特に、卸・小売業は半数以上が悪化と回答している。来期見通しは、全業種で2.8ポイント改善予想であるが、製造業では△8.3ポイント悪化を予想している。

<地区別：松之山地区>



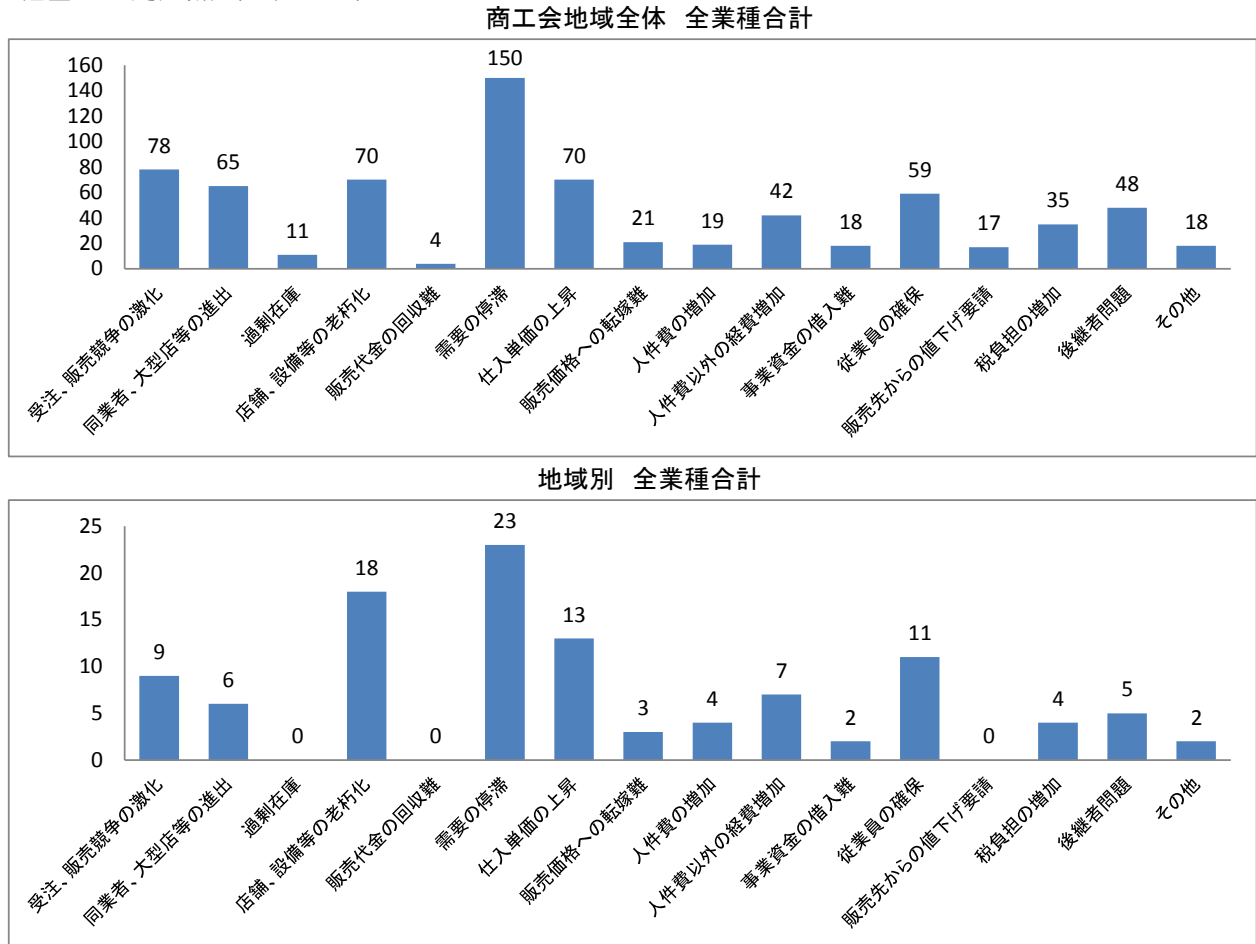
業種別景況判断の推移(地区別)



<コメント>

松之山地域の景況判断は、業種全体では前期よりも若干改善されているが、過去の推移でみると製造業の悪化が特に目立つ。来期の見通しでは、建設業が大きく悪化予想されており、前年同様で同じ傾向にあることが読み取れる。

8. 経営上の問題点（上位3つ）



<コメント>

市内全体の経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「店舗、設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」となり、前回調査と同じ結果となった。当地域は、1位は市内全体と同じであるが、2位に「店舗、設備等の老朽化」が挙げられており、宿泊業が多い地域でもあることから、他地域と多少違う傾向にある。

9. 地域全体の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

【建設業】

第2四半期の建設業の概要は、売上高で見た市内全体での昨年同期比DIは△16.3ポイント、松之山地域では△20.0ポイントであり、依然マイナスポイントが先行しているが、不変割合の回答が昨年より多くあり、多少の改善の兆しが見られる。しかし、来期見通しでは全ての項目で悪化予想されており、厳しい状況となることが推測される。

【製造業】

第2四半期の製造業の概要は、昨年からの調査開始時点から、各項目で一番安定していた業種であったが、調査項目の大半が悪化となっており、経営状況が大きく変動した業種であった。来期の見通しも今期と同様のDIポイントが出ており、厳しい状況が続くことが予想されている。

【卸・小売業】

第2四半期の卸・小売業の概要は、前年同期比で大きくマイナスポイントが先行している業種であるが、来期見通しでのDIポイントが今期よりも改善傾向にあることから、歳末商戦での売上高増加に期待している事業所が多いことが推測される。ただし、仕入単価が依然上昇傾向にあることから、景況判断、資金繰りに改善は見られない。

【飲食・宿泊業】

第2四半期の飲食・宿泊業の概要は、調査開始時点からの推移波形で仕入単価を除く調査項目で、変動の少ない業種となっている。市内全体の仕入単価を見ると分かるように、食材の価格高騰が著しく利益圧迫に影響している。来期見通しで若干であるが価格減少予想されており、改善されることに期待したい。

【サービス業】

第2四半期のサービス業の概要は、調査開始時点からの推移波形が全ての調査項目で、変動が少ない業種である。経営上の課題に後継者問題を上げている事業所が多く、今後は事業承継についての支援も考慮しなければならない。来期の見通しでは、昨年も同様であったが、10月～12月は今期よりも悪化することが予想されており、今後の動向に注視したい。